

柏原市立歴史資料館だより

2002. 11. 7

ゴンドラ

No.1

開館十周年を迎えて

平成4年（1992）11月7日、柏原市高井田の現在地に柏原市立歴史資料館として開館して以来、本年11月7日をもって、無事に開館十周年を迎えることができました。これも関係者をはじめ、市民の方々のご支援があつてのことと喜んでおります。

当館の隣接地には、史跡高井田横穴公園があります。この史跡公園は、線刻壁画などで有名な国史跡高井田横穴群を史跡公園として整備し、平成4年5月にオープンしたものです。当館も、この史跡公園整備に伴って建設が計画され、その隣接地に建設されることになったものです。それまでは、柏原市教育センターの1階に小規模な展示室を設置し、柏原市歴史資料館という名称で8年間の活動を行っていました。この施設が発展的に現在地に移り、名称も柏原市立歴史資料館として新しいスタートを切って以来十年。入館者は約20万人を数えます。大規模な博物館と比べると、わずかな入館者かもしれませんが、人口約8万人の本市にとっては、決して少ない人数とは思っていません。また、小学校の利用が多いことは、当館の特徴といえるでしょう。

現在は、年4回の企画展を中心に、さまざまな活動に取り組んでいます。本年夏には、史跡高井田横穴公園開園十周年記念として「線刻壁画は語る」と題した企画展を実施し、好評を得ることができました。また、来年度には資料館開館十周年を記念した企画展も予定しております。また、平成16年（2004）には、大和川付け替え工事から三百周年を迎えることになります。当館では、毎年秋に大和川付け替え工事を題材とした企画展を開催しており、三百周年に向けた企画も検討中であります。展示以外では、普及活動にも積極的に取り組んでおり、市民の声を聞きながら、市民の視点にたった活動を続けていきたいと考えています。また、さまざまな調査活動も展開していきたいと考えているところでもあります。このたび、十周年を迎えたことを契機とし、当館の活動内容をよりくわしく知っていただくため、歴史資料館だよりを発行することにしました。今後とも、当館へのご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



企画展のご案内

◎平成14年度秋季企画展

「暴れる大河—大和川の洪水とつけかえ—」

平成14年 9月25日～12月 8日

毎年恒例となっている江戸時代に実施された大和川の付け替え工事をテーマとした展示です。大阪府内の小学校4年生の学習に合わせた展示で、学芸員の説明を聞き、ビデオを見、展示を見学したうえで、実際の大和川つけかえ地点を見学するというコースで、例年50校前後の小学校が見学に訪れます。本年は、たびたびくりかえされた大和川の洪水と、その対策として実施された付け替え工事にポイントをおき、付け替え工事の中心人物であった中甚兵衛の残した資料をお借りしての展示となっています。

◎平成14年度冬季企画展

「ちょっと昔の道具たち—春夏秋冬、昔のくらし—」

平成15年 1月15日～ 3月16日

冬の企画展も、「ちょっと昔の道具たち」と題した展示を毎年行っており、すっかり定着したようです。今ではあまり見られなくなった生活の道具を中心に、なつかしい品々を展示します。これも小学校3年生の3学期の学習内容と連携した展示であり、多くの小学生が見学に訪れます。今回は、春夏秋冬それぞれのくらしがわかるような資料を展示する予定です。ご期待ください。

◎平成15年度春季企画展

「築留二番樋と玉手橋」(予定・開催期間未定)



築留中甚兵衛銅像



こたつ

—おしらせ—

当館では、次のような体験教室を予定しています。

◎しめなわづくり

平成14年12月7日(土) 午後1時～4時

参加費 無料 定員 15名

◎わらざうりづくり

平成15年2月22日(土) 午後1時～4時

参加費 無料 定員15名

※いずれも申し込み、お問い合わせは歴史資料館まで。 ☎0729-76-3430

企画展を終えて

★平成14年度春季企画展 「柏原と明治維新—柏原市立歴史資料館所蔵の古文書から—」

平成14年 4月20日～6月3日

文化財講演会（5月26日） 前八尾市立歴史民俗資料館館長 棚橋利光氏

「交通の変わりかた—江戸から明治—」

本年度春の企画展は、明治維新期の当館所蔵史料をとりあげ、政治・社会の激変に対応した柏原地域の歴史の一端を紹介しました。当館では、このような企画展は初めてですが、これまで整理作業を進めてきた所蔵古文書の紹介という側面をもった企画展でした。古文書をわかりやすく展示することの難しさを痛感した展示でもありました。

★平成14年度夏季企画展 「線刻壁画は語る」

平成14年 7月13日～8月25日

文化財講演会（7月28日） 同志社大学助教授 辰巳和弘氏

「他界は何処—古墳壁画の世界—」

史跡高井田横穴公園開園十周年記念として開催した企画展です。高井田横穴群をテーマとした企画展は何度か実施していますが、今回は線刻壁画にスポットをあててみました。ただ、線刻壁画は写真パネルでの展示が中心となるため、展示品との対応に苦労しました。講演会は急に座席を増やすほど好評でした。今回の展示に伴って、展示図録『線刻壁画は語る』を刊行し、一部300円で資料館窓口で販売しています。



船に乗る人物線刻壁画

活動の記録から

★むかし体験企画（5月19日）

体験・参加型の事業として実施し、4年目になります。本年は史跡高井田横穴公園開園10周年記念として開催しましたが、残念ながら雨のため史跡公園が使用できず、資料館研修室での開催となりました。アンギン、どんぐりクッキーづくり、勾玉づくり、火おこし、石臼挽き、横穴体験ツアーなど、参加者は約150名で好評のうちに終えることができました。

★文化財講座（5月から毎月1回、1年間通年申込み制）

本年度は「奈良街道を歩こう」をテーマに、3回の講義と6回の現地見学会を実施しています。見学会では、天王寺から奈良まで歩いています。参加者は58名と、これまでで最多となっています。

★博物館実習生の受け入れ（7月24日～8月1日）

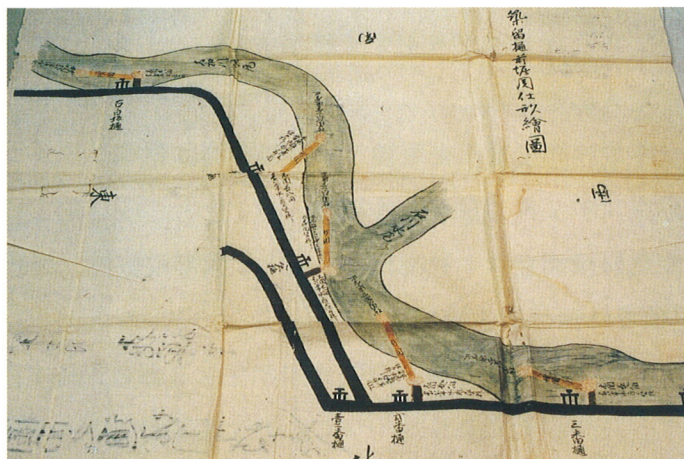
前期の博物館実習は、4大学から5名の実習生を受け入れました。さまざまな実習を体験したうえで、スポット展示「高井田横穴群からみつかった埴輪Ⅱ」の展示を実際にしてもらいました。

新収資料の紹介

○柏元家文書

柏原市本郷在住の柏元秀仁氏から、近世・近代の古文書・絵図など91点が寄託されたので、紹介しておきたいと思います。柏元氏からは、これまでも約千点の古文書が寄贈され、数千点の古文書・絵図が寄託されています。寄贈史料については、『大阪府柏原市柏元家文書目録』（1997年）としてすでに刊行済みですが、その後の寄託史料については膨大な点数であるうえ火災による被災史料でもあり、寄託を受けてから3年以上になりますが、ようやく半分余りの整理を終えたところで整理完了までにはしばらく時間がかかりそうです。

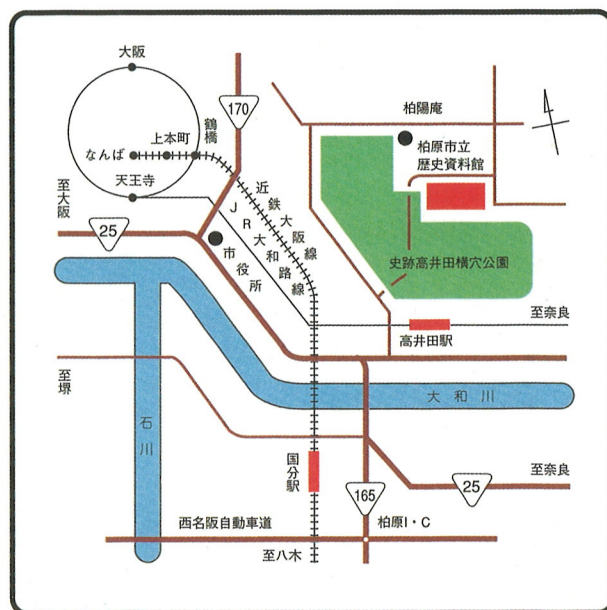
今回寄託された史料は、焼失を免れた長屋門に、火災以前に移されていた史料であり、長屋門の整理中に偶然発見されたものということです。文書は、寺院等の宗教関係文書、陵墓管理関係文書、大和川に関わる絵図などがあり、これまでに柏元家文書としては知られていなかった史料です。これらの史料の整理を進めることによって、柏原の歴史がまたひとつ解明されていくことでしょう。これまで大切に保管されてこられた柏元氏に感謝したいと思います。



大和川築留絵図（柏元氏寄託史料）

—ひとこと—

このたび、開館十周年を記念して広報紙を刊行することにし、タイトルは『 Gondra 』と決めました。『 Gondra 』は、もちろん高井田横穴群の「 Gondra 形 の船に乗る人物」の線刻壁画によるものですが、それとともに、流れに身をまかせるようにゆったりと活動が続けていきたいという思いもこめられています。これからも刊行を続け、資料館の活動について、おしらせしたいと思っています。よろしくお願いいたします。



柏原市立歴史資料館

休館日 月・火曜日、祝日（火曜日と重なるときは翌日も休館）

開館時間 午前9時30分～午後4時 入館料 無料

〒582-0015 大阪府柏原市高井田1598-1 TEL 0729-76-3430